農林水産大臣賞（３件）

農林水産大臣賞 「事業所・地方公共団体等」分野	受賞者名 **株式会社ウオロク**
	所在地 **新潟県新潟市**
	受賞テーマ **食品廃棄物を肥料化して農産物を生産し店舗で販売するリサイクルループの推進**

同社は、２０年以上前から牛乳パック、アルミ缶の店頭回収リサイクルを実施している。また、食品トレー、ペットボトル、キャップの店頭回収を実施してリサイクルを推進している。

平成２４年度より順次大型店中心に２１店の店頭にペットボトル自動回収機を設置し、消費者がエコポイントを貯めながら楽しくリサイクル活動に参加できるようにしている。平成２５年１１月に開店した中野山店では、店舗什器としてペットボトルを原料とした再生品を購入し、店頭から店頭へのリサイクルループとなるようにした。

店頭回収している食品トレーを再生し、再び食品トレーにする運動（「トレー　ｔｏ　トレー」）に協力し、食品トレーを原料として再生された食品トレー（エコトレー）の使用拡大を推進している（エコトレーは、株式会社エフピコの登録商標）。ウオロク店舗の鮮魚・精肉・惣菜部門で使用しているエコトレーの割合は、平成２２年度の２４．０％から平成２４年度には２９．７％と拡大している。一部店舗の精肉部門では、トレーを使用しないでパックした商品を売場で展開しており、トレーの使用削減に取り組んでいる。

また、食品循環資源のリサイクルループを推進している。柏崎・長岡地域では、平成２３年１０月再生利用事業計画を農林水産省・環境省より認定されたことにより、広域で魚のあらを収集運搬することが可能となった。店舗から排出される魚のあらを回収～肥料工場にて有機肥料製造～有機肥料を地元農家が使用して農産物を栽培～生産された農産物（エコろく野菜と呼ぶ）を地元ウオロク店舗で販売するというリサイクルループを実践している。

このリサイクルループは柏崎・長岡以外の地域にも展開しており、平成２５年６月からは新潟市秋葉区の新津店で開始し、さらに平成２５年１０月には三条市の東新保店でも開始した。魚のあらの肥料化などの食品循環資源のリサイクルを推進した結果、食リ法の再生利用実施率は、平成２２年度の３９．０％から平成２４年度には７３．８％まで改善した。

その他にも、事業系廃棄物のリサイクルとして、店舗から排出されるダンボール、紙類、食用廃油をリサイクルしたり、レジ袋削減の啓発のため、レジ袋を辞退した消費者に対して「お買物袋節約スタンプカード」にスタンプを１個押印し、スタンプ２０個で１００円の還元をする活動を実施したりしている。